

神の国の祝福

シリーズ～神の国～

2013/7/14

マルコによる福音書6章34～44節

イエスは舟から上がり、大勢の群衆を見て、飼い主のいない羊のような有様を深く憐れみ、いろいろと教え始められた。そのうち、時もだいぶたったので、弟子たちがイエスのそばに来て言った。「ここは人里離れた所で、時間もだいぶたちました。人々を解散させてください。そうすれば、自分で周りの里や村へ、何か食べる物を買に行きましょう。」これに対してイエスは、「あなたがたが彼らに食べ物を与えなさい」とお答えになった。弟子たちは、「わたしたちが二百デナリオンものパンを買って来て、みんなに食べさせるのですか」と言った。

イエスは言われた。「パンは幾つあるのか。見て来なさい。」弟子たちは確かめて来て、言った。「五つあります。それに魚が二匹です。」そこで、イエスは弟子たちに、皆を組に分けて、青草の上に座らせるようにお命じになった。人々は、百人、五十人ずつまとまって腰を下ろした。

イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで賛美の祈りを唱え、パンを裂いて、弟子たちに渡しては配らせ、二匹の魚も皆に分配された。すべての人が食べて満腹した。そして、パンの屑と魚の残りを集めると、十二の籠にいっぱいになった。パンを食べた人は男が五千人であった。

自分のことは自分で？

- ▶ 大勢の群衆にいろいろと教えられたイエス様
 - 「飼い主のいない羊のような有様を深い憐れみ」
- ▶ 弟子たちは皆が空腹であることに気付いた
 - 「ここは人里離れた所で、時間もだいぶたちました。人々を解散させてください。そうすれば、自分で周りの里や村へ、何か食べる物を買いに行くでしょう。」
- ▶ 私たちも、自分のそばに問題を抱えている人がいることを知っている
- ▶ しかし、自分で解決すべきだと思っている
 - 下手に干渉しない方が良い？

何かできることはないか？

- ▶ 弟子たちに何とかするように命じられた
 - 「あなたがたが彼らに食べ物を与えなさい」
- ▶ 自分には関係ないし、解決できないと答えた
 - 「わたしたちが二百デナリオン(約200万円)ものパンを買って来て、みんなに食べさせるのですか」
- ▶ イエス様は何とかしてみようと言われた
 - 「パンは幾つあるのか。見て来なさい。」
- ▶ 悲しくなるほどわずかな物しかなかった!
 - 「五つあります。それに魚が二匹です。」

信じられない出来事!

- ▶ イエス様は人数が分かるように組に分け、「青草の上に」座らせた
 - ゆっくり食事ができるように
- ▶ パンを与えたもう神を賛美し、パンを弟子たちに分配させた
 - 「天を仰いで賛美の祈りを唱え、パンを裂いて、弟子たちに渡しては配らせ、二匹の魚も皆に分配された」
- ▶ 男だけで五千人もの人が満腹し、パン屑と魚の残りを集めると12の籠にいっぱいになった!

困っている人がいたら？

自分には関係ないので何もしない

- ・本当にそうだろうか？

何もしないで神様に祈る

- ・クリスチャンが陥りやすい過ち

できることをして後は神様に委ねる

- ・何かできることがきつとある
- ・神様は私たちが関わることをもとめておられる

神の国の祝福

献げる祝福

- ・ 悲しくなるほどわずかな物でも
- ・ $0 \times 100 = 0$

用いられる祝福

- ・ 神様の御業に参加する
- ・ 神様に期待して委ねる<神様の計算は...>

有り余る祝福

- ・ 神様の恵みを実感する



モザイク画(5世紀)
ガリラヤ湖北西岸のタブハにある教会